

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	地域支援と相談援助の役割		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601
担当教員	西村 祐一	実務経験と その関連資格	教育現場にて、医療福祉系の授業を行っている。			
《授業科目における学習内容》						
<p>国がすすめるサポートシステムである『地域包括ケアシステム』の考え方として、「重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう・・・」というものがある。地域で暮らし続けるということは、もはや公的支援に頼るだけでは実現が困難なものになってきている。地域をサポートする仕組みを作るには、インフォーマルな支援が必要不可欠な時代である。「オール・サポーティング・オール」お互いがお互いを支え合うシステムの構築に専門職がどのように関わっていく必要があるのかを学んでいく。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
本試験(70%)、出席(20%)、学習態度(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
必要な資料は授業中に配布する。						
《授業外における学習方法》						
事前学習は前回の授業の内容確認、事後学習は当日の授業の復習。						
《履修に当たっての留意点》						
私たちの地域生活と社会福祉の関係について学んでいきましょう。日ごろから社会福祉に関わる情報には着目し、それらを取り巻く社会情勢にも関心をもっておいてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障の仕組みについて理解できる。	配布資料	[事前学習]シラバスを読む(20分)[事後学習]授業の復習(40分)	
		各コマにおける授業予定	権利としての社会保障、社会保障制度の概要、社会保険と民間保険 社会保障の背景、深刻化する生活問題 社会保障とメンタルヘルス、社会保障と新型コロナウイルス感染			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステムに向けた地域社会共生社会の実現	配布資料	[事前学習]前回授業の確認(20分)[事後学習]授業の復習(40分)	
		各コマにおける授業予定	生活保障の機能低下、地域共生社会の背景、市町村と地域住民に求められる役割、相談支援体制の変遷			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域支援の進め方を地域包括ケアシステムの視点を通じて理解できる	配布資料	[事前学習]前回授業の確認(20分)[事後学習]授業の復習(40分)	
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステム 地域支援のすすめ方を「地域包括ケアシステム」の視点を通して学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉援助、医療・看護・福祉の連携の実際を理解できる	配布資料	[事前学習]前回授業の確認(20分)[事後学習]これまでの講義内容をまとめる(40分)	
		各コマにおける授業予定	事例を参考に、医療・看護・福祉が実際にどのように連携をしていくことが出来るかを考える①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉援助、医療・看護・福祉の連携の実際を理解できる	配布資料	[事前学習]前回授業の確認(20分)[事後学習]授業の復習(40分)	
		各コマにおける授業予定	事例を参考に、医療・看護・福祉が実際にどのように連携をしていくことが出来るかを考える②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域支援事業の概要を説明できる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] 授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	地域支援事業 地域支援のすすめ方を「地域支援事業」の視点を通して学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	インフォーマルサポートとフォーマルサポートにはどのようなものがあるか説明できる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] これまでの講義内容をまとめる(40分)
		各コマにおける授業予定	インフォーマルサポートとフォーマルサポート 社会資源にはインフォーマルなものどフォーマルなものがあり、必要に応じて使い分けができることを学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域支援の担い手にはどのような人がいるのか、説明できる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] 授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	地域支援の担い手 公的支援のみに頼らない「オール・サポーター・オール」という考え方を学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	当事者の参加・協働の必要性について説明できる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] 授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	当事者の参加・協働 当事者は一方的にサポートを受けるだけではなく、当事者自身が参加し・協働していく仕組み作りが重要であることを学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域支援の実践事例を理解することができる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] 授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	地域支援の実践に学ぶ① 地域支援の実践例を学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域支援の実践事例を理解することができる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] これまでの講義内容をまとめる(40分)
		各コマにおける授業予定	地域支援の実践に学ぶ② 地域支援の実践例を学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域支援の実践事例を理解することができる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] 授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	地域支援の実践に学ぶ③ 地域支援の実践例を学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域福祉専門職について説明できる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] 授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	地域福祉専門職① 地域福祉専門職とその専門性について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域福祉専門職について説明できる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] 授業の復習(40分)
		各コマにおける授業予定	地域福祉専門職② 地域福祉専門職とその他の人々との連携について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑫今後の地域支援の可能性と課題について説明できる。	配布資料	[事前学習] 前回授業の確認(20分) [事後学習] 本講義の内容を総括してまとめる(40分)
		各コマにおける授業予定	地域支援の展望と可能性 今後の地域支援に期待できること、またその課題について学ぶ。		